

# 心臓財団 季報

# 報 No.167

財団法人日本心臓財団  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区-A  
Tel 03-3201-0810 Fax 03-3213-3920 e-mail:info@jhf.or.jp http://www.jhf.or.jp/

May 10, 2002

## 平成14年度の事業計画を決定 第102回理事会・第41回評議員会にて

3月25日、東京の銀行倶楽部にて第102回理事会および第41回評議員会が開催され、平成14年度事業計画、収支予算を審議決定しました。事業概要は以下のとおりです。

### 研究助成事業

#### A. 個別研究助成

1. 第28回日本心臓財団研究奨励の実施  
[ 助成額：1件100万円を10件 ]
2. 第10回日本心臓財団・ファイザー「高血圧と血管代謝」研究助成の実施  
[ 助成額：100万円を3件と40万円を5件 ]
3. 第8回日本心臓財団・ファイザー「心血管病」研究助成の実施  
[ 助成額：250万円を4件と50万円を8件 ]
4. 第10回日本心臓財団・ゼリア新薬工業「分子循環器」研究助成の実施  
[ 助成額：1件100万円を10件 ]
5. 第28回日本心臓財団佐藤賞の贈呈  
平成15年3月29日(福岡)
6. 第67回日本循環器学会若年研究者奨励賞への助成  
平成15年3月29日(福岡)
7. 第27回日本心臓財団草野賞の贈呈  
平成15年3月13日(東京)
8. 第17回日本心臓財団予防賞の贈呈  
平成14年5月30日(東京)
9. 第7回日本心電学会学術奨励賞の後援  
平成14年9月11日(東京)

#### B. 班研究助成

1. 急性心筋梗塞に関する疫学的研究助成
2. 愛知循環器病予防研究助成
3. 不整脈の薬剤長期治療計画に関する研究助成
4. 心筋梗塞後の心血管イベント発生に関する研究助成

5. J-CAD study (虚血性心疾患疫学調査研究) 助成
  6. 低リスク安定労作狭心症に対するインターベンション療法の“長期予後”に関する無作為介入試験助成
  7. 肺塞栓症研究会共同研究助成
  8. 心筋梗塞後のスタチン薬投与による心血管イベント抑制に関する研究助成
  9. 冠動脈形成術後の心血管イベント抑制に関する研究助成
  10. 特発性心室細動研究(J-IVFS) 助成
  11. 抗血栓療法に関するアンケート調査助成
- #### C. 留学助成
1. 第16回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成の実施  
[ 助成額：1件300万円を10件 ]
  2. 東京海上による海外研究者研修助成の実施
  3. 不整脈の非薬物治療Scholarship海外研修助成の実施  
[ 助成額：1件80万円を10件 ]

### 学術活動・会議助成事業

1. 第24回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招待講演) 助成  
平成15年3月29日(福岡)
2. 第15回日本循環器病予防セミナーの開催助成  
平成14年7月14日～19日(石川)
3. 第12回国際血管生物学会助成  
平成14年5月12日～15日(長野)
4. 心筋症・心不全国際会議助成  
平成14年5月30日～6月1日(京都)
5. 第34回日本動脈硬化学会総会助成  
平成14年7月17日～19日(神戸)
6. 第50回日本心臓病学会学術集会助成  
平成14年9月9日～11日(名古屋)
7. 第19回日本心電学会総会・学術集会助成  
平成14年9月10日～11日(名古屋)
8. 第6回日本心不全学会学術集会助成  
平成14年10月2日～4日(東京)

9. 第15回国際心臓血管循環動態学会助成  
平成14年10月13日～15日(仙台)
10. 第43回日本脈管学会総会助成  
平成14年11月7日～9日(東京)
- ほか循環器に関連する国際・国内会議助成

### ・ 広報啓発事業

1. 日本循環器学会との協力事業
  - 1) 病院掲示用壁新聞ハートニュースの製作配布
  - 2) 季刊誌「健康ハート」の発行
  - 3) 市民公開講座の開催
2. 予防啓発小冊子の発行
3. 「健康ハートの日」活動
  - 1) 8月10日キャンペーン
  - 2) 川柳キャンペーン  
心臓(病)にちなんだ川柳募集
  - 3) 広報活動  
ポスターの製作配布等
4. インターネット「心臓財団のページ」関連広報活動  
<http://www.jhf.or.jp/>
5. 世界心臓連合加盟団体としての諸活動
6. 世界ハートの日 9月29日
7. 予防活動団体への協力
8. 日本心臓ペースメーカー友の会事業への協力
9. ふれあいハートの会事業への協力
10. トーアエイヨー(株)によるラジオたんぱ「心臓財団虚血性心疾患セミナー」
11. 月刊医学雑誌「心臓」の編集
12. 機関紙の発行

## 第17回日本心臓財団予防賞

### 西尾一郎教授が受賞

第37回日循協総会にて

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に永年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは研究者を対象に贈られるものです。今回は和歌山県立医科大学循環器内科の西尾一郎教授が選ばれました。受賞研究は、「地域における循環器疾患による死亡の実態調査研究」で、来る5月30日、東京の国立健康・栄養研究所で開催される第37回日本循環器管理研究協議会(会長:田中平三独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長)総会において授与式が行われ、賞牌ならびに50万円が贈られます。



## 第27回日本心臓財団佐藤賞

### 森下竜一博士が受賞

第66回日本循環器学会にて

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられたもので、近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。日本循環器学会会長を委員長とする選考委員会において選考され、今回は大阪大学大学院医学系研究科遺伝子治療学・加齢医学の森下竜一助教授に決定しました。

第66回日本循環器学会総会・学術集会(会長:北畠顕北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)会期中の4月25日に北海道厚生年金会館にて授与式が行われ、当財団の春見建一副会長より賞牌ならびに100万円が贈呈されました。研究課題は、「難治性循環器疾患の遺伝子治療の開発」で、同学術集会において受賞記念講演が行われました。



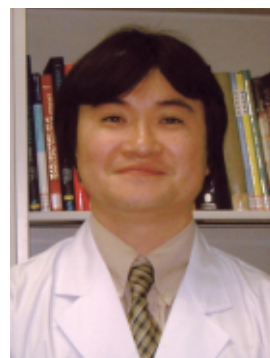
## 第26回日本心臓財団草野賞

### 黒田敏博士が受賞

第27回日本脳卒中学会にて

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられたもので、その1年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の論文に対し贈られるものです。今回は北海道大学大学院医学研究科脳神経外科学分野の黒田敏博士に決定しました。

第27回日本脳卒中学会総会(会長:吉本高志東北大学大学院医学系研究科脳神経外科学教授)会期中の4月24日に仙台国際センターにて授与式が行われ、吉本会長より賞牌ならびに50万円が贈呈されました。受賞論文は、「Acetazolamide testによる内頸動脈・中大脳動脈閉塞症の長期予後の推測」でした。



## 心血管病研究助成対象者決定

協力：ファイザー製薬(株)

ファイザー製薬株式会社の協力を得て、循環器学の発展と40歳未満の少壮研究者の育成のための第6回および第7回心血管病研究助成を実施しました。

第6回の研究テーマは「循環器病研究とイメージング」で、昨年30件の応募の中からポスター発表により12件が選考され、本年3月2日、京都リサーチパークにおける研究発表会でその12名による口演発表をもとに4名が選考されました。助成金はそれぞれ200万円です。

第7回の研究テーマは「心疾患の薬物療法」で25件の応募があり、同日同会場にてポスター展示による自由討議を行い12名が選考されました。助成金はそれぞれ50万円です。さらに明年3月開催の研究発表会でこの12名から4名を選考しそれぞれ200万円を助成いたします。

## ASEAN諸国研究者に対する助成

協力：東京海上火災保険(株)

日本心臓財団では東京海上火災保険株式会社の協力を得て、循環器疾患の研究分野においてASEAN諸国の研究者の来日に対し、助成事業を実施しております。

このたび次の方に助成しました。

1. 国立循環器病センター研究所にて研究 80万円  
平成14年4月1日～11月30日(8カ月間)  
Edhi Sudjono Gunawan氏(インドネシア)
2. 第66回日本循環器学会総会・学術集會に参加発表  
それぞれ20万円  
平成14年4月24日～26日  
Christine Marie C. Ancheta-Puey氏(フィリピン)  
Noel P. Naval氏(フィリピン)  
Romulo Rommel L. Rosita氏(フィリピン)

## 平成14年度日本心臓財団研究奨励募集

1. 対象分野  
心臓血管病(心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等)の成因。治療あるいは予防に関する研究。
2. 研究奨励金および応募資格  
1件100万円を10件。心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる1962年4月1日以降に生まれた研究者。
3. 応募期間  
平成14年6月1日～7月15日  
お問い合わせは日本心臓財団事務局へ。

## 「健康ハートの日」川柳募集

一般の方々に心臓病に関心をもっていただくため8月10日を「健康ハートの日」と定め、事業を展開しております。今年も心臓(病)にちなんだ川柳募集を行います。テーマを健康とお酒(アルコール)としました。

官製はがきに健康とお酒(アルコール)を取り上げた自作で未発表の川柳一句と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ下記のところまでお送りください。6月14日着分で締め切ります。発表は8月10日に入賞者にご連絡のうえ、本誌に掲載します。

応募先：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-4

(株)メディカル・ジャーナル社内

日本心臓財団「健康ハートの日」川柳係

## 心血管病研究助成対象者(五十音順・敬称略)

### 第6回「循環器病研究とイメージング」

(助成金額は各200万円)

川崎雅規《岐阜大学医学部第二内科 / 37歳》  
血管内超音波法の高周波信号解析によるヒト冠動脈プラークのin vivo組織性状診断

後藤信哉《東海大学医学部循環器内科 / 39歳》  
レーザー共焦点顕微鏡による血小板血栓の3次元イメージング

山下智也《神戸大学大学院医学系研究科循環呼吸器病態学 / 32歳》  
単色放射光を用いた微小血管造影法の開発と疾患モデルマウスでの微小血管動態の評価

山田さつき《筑波大学臨床医学系内科循環器内科 / 34歳》  
心磁計測システムを用いた心房細動の画像科 - focal atrial fibrillationとrandom reentryの鑑別 -

(年齢は昨年応募時)

### 第7回「心疾患の薬物療法」

(助成金額は各50万円)

荒井正純《岐阜大学医学部第二内科 / 39歳》  
糖の吸収阻害性抗糖尿病薬miglitolの虚血心筋保護作用の発見と狭心症モデルに対する効果の検討 - Ischemic preconditioning からnew pharmacological preconditioningへの新たな展開 -

扇田久和《大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科 / 31歳》  
選択的エストロゲン受容体調節薬の心保護作用とそのメカニズムの解明

大西勝也《三重大学医学部付属病院中央検査部 / 36歳》  
心不全におけるアンジオテンシン変換酵素阻害薬及びアンジオテンシン受容体阻害薬併用療法の意義 - 内因性ブラジキニンの機能的役割 -

苅尾七臣《自治医科大学循環器内科 / 39歳》  
日本人高血圧患者における起立性高血圧の心血管リスクファクターとしての臨床的意義とその治療の確率

河野宏明《熊本大学医学部循環器内科 / 37歳》  
閉経後女性の冠攣縮性狭心症に対するホルモン補充療法の有効性の検討

桑原宏一郎《京都大学大学院医学研究科臨床病態医学 / 35歳》  
心筋胎児型遺伝子発現調節に関わる転写因子複合体、NRSF-HDAC complexの心不全・突然死発症における役割の解明と創薬標的としての可能性の検討

河野正輝《山口大学医学部器官制御医学講座循環病態内科 / 30歳》  
心筋筋小胞体カルシウム放出チャネル安定化に基づいた新しい心不全治療戦略

佐田正隆《東京大学医学部付属病院循環器内科 / 38歳》  
薬物を用いた新規血管新生治療法に関する研究

東 幸仁《広島大学医学部第一内科 / 40歳》  
血管内皮機能に及ぼす各種降圧薬の影響：降圧薬、投与期間、高血圧重症度との関連 - Hiroshima Endothelial Function Study -

水上美帆《千葉大学大学院医学研究科循環病態医学 / 32歳》  
心不全に対するACE-IおよびARBの投与はマイクロアレイ解析において異なる遺伝子発現パターンを示す

安田 聡《国立循環器病センター心臓血管内科 / 39歳》  
C型ナトリウム利尿ペプチド局所送達によるステント内再狭窄予防効果に関する検討

築詰徹彦《京都大学大学院医学研究科循環病態科 / 31歳》  
心不全発症の核内情報伝達機能を標的とした薬物療法の確立

## 分子循環器研究助成対象者決定

協力:ゼリア新薬工業(株)

ゼリア新薬工業株式会社の協力のもとに循環器領域において分子生物学的手法を用いた研究に貢献が期待される40歳以下の若手研究者に対する研究助成を実施しております。今回は全国より48件の応募があり、4月25日に開催された選考委員会において下記の10名が選考されました。助成金はそれぞれ100万円です。来る7月27日に全社協・灘尾ホールにて授与と昨年選考された助成研究の発表報告が行われます。

### 第10回分子循環器研究助成対象者

(五十音順・敬省略)

朝倉正紀《大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学 / 34歳》  
心筋細胞の生存における HB-EGF-ADAM12 関連の役割  
解明

池田安宏《山口大学大学院医学研究科循環病態内科学 / 37歳》  
蛋白ホスファターゼ1阻害蛋白の遺伝子導入は慢性心不全の細胞内 Ca<sup>2+</sup> ハンドリングを改善させるか？  
- 心筋症ハムスター UMX7.1・高効率遺伝子導入法を用いた検討 -

石田万里《広島大学医学部臨床検査部 / 38歳》  
MAP キナーゼの新しい基質 Mnk1 の血管平滑筋細胞における機能

磯 達也《群馬大学医学部第二内科 / 36歳》  
Notch-HERP 経路による心室・心房の分化調節機構の解明

小玉博明《慶應義塾大学医学部呼吸循環器内科 / 39歳》  
心臓粘液腫の発生、組織起源に関する分子生物学的、病理学的検討

塩井哲雄《京都大学大学院医学研究科循環病態学 / 40歳》  
心肥大と心不全における Phosphoinositide 3-kinase 経路の役割

鈴木淳一《東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科循環制御学 / 36歳》

心臓移植における急性拒絶と冠動脈病変の病態解析と遺伝子治療: マウスおよびミニブタ心臓移植モデルを用いた検討

鈴木 亨《東京大学大学院医学系研究科循環器内科 / 34歳》  
平滑筋増殖関連転写因子 IKLF/BTEB2 の転写リプレッサー SET による平滑筋細胞増殖の in vivo での抑制の検討

南野 徹《千葉大学大学院医学研究科循環病態医学 / 37歳》  
血管老化マウスの確立

山下智也《神戸大学大学院医学系研究科循環呼吸器病態学 / 33歳》  
マクロファージに対する免疫誘導療法による動脈硬化予防法の開発 - プロテオーム解析を応用した新規動脈硬化関連蛋白の同定 -

ご支援ありがとうございました

### 当財団の賛助会

個人賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。(敬称略:2002年2月~2002年4月)

後藤 紘司 実崎美栄子 細田 泰司  
宮下 英夫 森本 龍声

### 心臓財団からのお願い

~ご寄付ならびに賛助会ご加入~

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。ご寄付はいくらでも受けさせていただきます。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額3万円、2万円、1万円、法人の場合は5万円で何口でも差し支えありません。

あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。なお、当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、寄付金・賛助会費については税制上の優遇措置が講じられております。ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597

宛て先 財団法人日本心臓財団

### 人の動き

杉本恒明氏(当財団常任理事)平成14年4月1日より公立学校共済組合関東中央病院病院長から名誉院長になられました。

仲村英一氏(当財団評議員)平成14年3月19日より財団法人結核予防会理事長になられました。

上田一雄氏(当財団評議員)平成14年3月31日をもって九州大学医療技術短期大学部教授を退官され、4月1日より財団法人医療情報健康財団理事長になられました。

村山正博氏(当財団評議員)平成14年3月31日をもって聖マリアンナ医科大学学長を退かれ、同大学理事になられました。



お近くにお越しの節はお立ち寄り下さい。